

平成27年度

学生によるオレンジリボン運動

　　　　　　相愛大学　実施報告書

実施主体　人間発達学部子ども発達学科

実施内容　大学祭にて啓発活動（平成27年10月17・18日） ・啓発ポスター掲示（継続）

|  |
| --- |
| ➀事前に取り組んだ内容 |
| ○卒業研究（ゼミ）において、「オレンジリボン」「児童虐待」について調べ、発表・討議する形での学習会を実施した。  ○「虐待防止あったかネットサポーター養成講座」（住之江区）に参加・学習した。  ○啓発ポスター（オレンジリボン運動の始まり・児童虐待の捉え方・意味等を示したもの）およびオレンジリボンの作成を行った。 |
|  |
| ②実施期間に取り組んだ具体的内容 |
| ○大阪市住之江区社会福祉協議会と連携を図りながら、大学祭において、「学生による  オレンジリボン運動」コーナーを設置し、啓発活動を行った。  ・子ども発達学科の学生（学祭担当者）及び教職員は手作りオレンジリボンをつけた。  ・来場者にも手作りオレンジリボンを配布するとともに、啓発ポスターを基に運動の  始まりについて説明をする等の活動を行った。  ＊「さざなっちゃん」（住之江区社協公認マスコット）の着ぐるみも活用した。  ○大学祭終了後も、学内のラーニング・コモンズゾーンにおいて、啓発ポスターを継続  　して掲示する等、他学部（音楽学部・人文学部）の学生等への周知も図った。 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ③オレンジリボン運動を終えて・・・ |  |  |
| ○オレンジリボンや児童虐待等について  再度調べる機会となり、より理解する  ことができた。  ○オレンジリボンや児童虐待等について、今後もさらに深く学びたい。  そして学生として、さらに、保育者・  教育者として、自分たちに何ができる  かを考えていきたいと感じた。  ○オレンジリボンの存在を知らない人、  児童虐待にあまり関心がない人にも  理解を促せるよう、来年度、後輩にも  活動を続けて欲しいと感じた。 |